

平成29年度若手研究者アンサンブルグラント第2ステージの公募について

東北大学研究所長会議 代表
東北アジア研究センター センター長 高倉 浩樹

研究所若手アンサンブルプロジェクトWG リーダー
学際科学フロンティア研究所 鈴木 一行

東北大学附置研究所若手アンサンブルプロジェクトでは、昨年度の研究所若手アンサンブルグラント第1ステージの採択グループを対象として、第2ステージへのステージアップ公募を実施することになりました。

第1ステージでの研究の進捗に基づき、採択課題数を2件に絞り、配分研究費を150万円とします。本グラントは外部研究費獲得も目的のひとつとしていますので、第2ステージでは、何らかの外部研究費等への申請を実施条件といたします。なお、別途、第1ステージへの申請も受け付けますが、その場合には、それぞれの申請書を準備してください。

研究意欲の増進という面でも、幅広い協力関係は有益です。本グラントをひとつの機会として、研究所間・部局間連携を進めて活発な研究活動につなげていただきますようお願いいたします。

公募要項（案）

1. 対象研究グループ

平成28年度研究所若手アンサンブルグラント第1ステージ採択グループを対象とします。若干名の研究者の変更は可能ですが、「異動のため」や「分担内容への対応のため」などの理由を記載してください。研究グループの構成の規定は、第1ステージと同様で以下の通りです。

本学の**複数部局(研究所, センター, 研究科等)**に所属する教員・研究員で構成される研究グループ（複数の研究所に加えて、他部局が入っていても可）

*ここで「研究所」とは、金属材料研究所, 加齢医学研究所, 流体科学研究所, 電気通信研究所, 多元物質科学研究所, 災害科学国際研究所, 東北アジア研究センター, 学際科学フロンティア研究所, 材料科学高等研究所(AIMR)を指します(以下, 同じ)。

申請者(研究代表者)の対象は、東北大学の研究所に所属するポスドク, 助手, 助教, 講師, 准教授(特任・特定を含む)とします。特に若手研究者の応募を歓迎します。研究代表者以外の共同研究者については、職名・身分の制限はありませんが、学生の卒業・修了などにより、複数研究所のグループが研究期間の大半に構成されなくなる見込みが明確な場合は、対象とはなりません(研究所所属で後期課程などへ進学希望, ポスドクとして在籍予定などの場合は対象とします)。

*なお本公募では、兼任・兼担などの場合(学際研のメンター制も含む), 在籍研究所あるいは主な活動拠点の研究所に所属する研究者とグループを構成しても、それ自体では複数研究所とはみなされません。

2. 研究内容

複数の部局間で連携する研究

*全領域の研究を対象とします。異分野融合研究, 学際研究が必須条件ではありません。

3. 採択決定時期と研究期間

平成29年8月中旬頃に採択課題を決定します。第2ステージの研究期間は平成30年3月31日までとします。

4. 支援内容

今回公募する第2ステージの支援研究費は、上限150万円です。研究経費は、審査の結果、減額されることがあります。採択後、一定の期間を経て、研究代表者の所属する研究所に対し、世話部局である東北アジア研究センターから配分されます。

5. 応募方法

所定の書式を用いて申請書を作成し、PDF形式で電子メール添付にて、締切日までに

研究代表者をご提出ください。なお、提出の際は、東北大学内の機関が発行した公的な電子メールアドレスを使用してください。

提出先メールアドレス:ensemble_secretariat@fris.tohoku.ac.jp

メール件名:Application for Ensemble Grant 1st stage (XXXXXX, YYYY)

XXXXXX は名前(漢字, アルファベットどちらでも可)

YYYY は研究所の英字略記

締切日:平成29年7月31日(月)

異なる書式によるもの、あるいは提出期限をすぎたものは受理・審査されません。

6. 採択予定件数

2件

7. 選考

各研究所長から指名された委員で構成される審査委員会で審議し、所長会議で決定します。

8. 実施条件

研究期間終了後、所定様式の成果報告書の提出が義務づけられます。また、年度内に開催予定の研究会で研究の概要を発表していただきます。

第2ステージでは、研究期間中もしくは終了後1年以内の外部研究費への申請を必須とします。その見通しも審査対象となりますので、ご注意ください。

なお、成果の公表の際には、本公募プログラムの支援によるものであることを記載してください。

9. 取り扱い

安全衛生管理ならびにネットワーク管理、研究不正防止、法令順守などについて、本学ならびに所属部局にて実施運用しているすべての規則・指導に準拠して研究を実施していただきます。なお、これらを逸脱していると判断される場合には支援を中止させていただきます。

10. その他

本公募に関しご不明な点は、学際科学フロンティア研究所鈴木特任准教授(URA) 内線 92-4353, suzukik@fris.tohoku.ac.jp までご照会ください。

申請書の書き方について

1. 研究組織

本学の**複数部局(研究所, センター, 研究科等)**に所属する教員・研究員・技術職員で構成される研究グループとしてください。これ以外に、分担者であれば、研究所以外の部局に所属する研究者、学外者を含んでも結構です。研究代表者名の前に、◎を付加してください。

2. 研究経費

研究経費は設備費、消耗品費、旅費、謝金・人件費で本研究の遂行に必要なものに限られ、上限150万円とします。(研究室運営のための経費や、他の研究の経費として計上することがふさわしいと考えられる支出は認められません)。

3. 研究の目的, 予想される結果と意義, 計画・方法等

申請書は適宜字数を調節して3枚に収めてください。

4. 他の研究費申請について

第2ステージでは、成果を基にした外部研究費への申請が求められます。実施中、あるいは終了後の申請予定の外部研究費について記載してください。

また、第2ステージ実施前の時点で、他の研究費に重複して申請されている場合には、その情報を最終ページの欄に記載してください。本グラントでは、重複申請自体は制限しませんが、他研究費に制限がある場合には、考慮の上、申請してください。なお、重複獲得の是非については、金額や申請内容により個々の審査委員の判断に委ねられます。